

要望

日付：2026/7/27

件名：学校給食異物混入の件

1. 問題、課題

学校給食の異物混入対応について、お伺いしたくお手紙いたします。

約2年8か月前（令和5年11月）、異物混入に関する質問に対し、町から「不測の事態に備え、急遽給食に提供できるような保存食のようなものについては、今後、防災用も兼ねた保存食などの準備を検討する予定です。」との回答をいただきました。また、異物混入対応マニュアルについて質問した際には、「学校給食異物混入対応マニュアルにつきましては、自校方式で作成されていたものを給食センター用に修正し使用しておりますが、随時見直し、よりよいものとしてまいります。」との回答もいただいております。

今回、再び異物混入が発生し、カレーライスの日のカレーの提供が中止となりました。その後、議員さんが町へ確認してくださり、保存食等については現在も検討を続けているものの、アレルギー対応が課題となっていることを伺いました。一方で、他自治体では、異物混入時の対応をマニュアルとして公開し、代替食や食物アレルギー対応食品、防災用カレーの活用などを定めている事例もあることを知りました。もちろん自治体ごとに状況が異なることは理解しております。しかし、万が一給食を提供できない事態が起きた際にも、子どもたちが安心して食事をとれる体制づくりは大切ではないかと感じています。

そこで、以下についてお伺いします。

1. 約2年8か月前に「検討する予定」と回答いただいた保存食等について、現在の検討状況や今後の方向性を教えてください。
2. 他自治体の事例も参考にしながら、アレルギーに配慮した代替食や保存食の導入について、今後も検討していただくことは可能でしょうか。
3. 学校給食異物混入対応マニュアルについて、保護者が確認できるようホームページ等で公開する予定はありますか。公開が難しい場合は、その理由も教えていただければ幸いです。

安全確保が最優先であることは十分理解しております。その上で、保護者として、万が一の際の対応が分かり、安心できる環境づくりにつながることを願っております。お忙しいところ恐れ入りますが、ご回答のほどよろしくお願いいたします。

2. 改善案

異物混入などで給食の一部または全部が提供できない場合に備え、アレルギーに配慮した代替食・保存食の導入を検討するとともに、学校給食異物混入対応マニュアルをホームページ等で公開する。

3. 改善後の効果

不測の事態でも児童・生徒へ適切な食事を提供しやすくなるとともに、保護者が対応内容を事前に確認できることで安心感が高まり、学校・家庭・行政の共通理解につながる。

回答

＜学校給食異物混入の件＞

【所管：寒川学校給食センター】

〈質問 1 及び 2〉

このたびの学校給食への異物混入に伴い、給食の一部提供中止という事態に至るとともに、児童生徒及び保護者の皆様にご心配をおかけいたしまして大変申し訳ございませんでした。

お問い合わせをいただきました、不測の事態に備え、急きょ給食に提供できるような保存食のようなものにつきましては、現在も検討中でございます。

具体的には、アレルギーを持つ児童生徒にも対応可能な品物の選択をはじめ、急きょ給食として保存食等を使用する場合の提供手順や当該保存食等の保管場所など、小学校低学年も含めた児童生徒に対し、学校給食として提供する際にクリアすべき課題がございます。

引き続き関係各課と連携しながら検討を進めてまいります。

〈質問 3〉

寒川町学校給食異物混入対応マニュアルにつきましては、このたびの事案の発生状況等も踏まえた上で、ホームページ等での公開に向けて今後準備を進めてまいります。